学校番号	3033

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学ⅡＬ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「新課程　数学Ⅱ」「新課程　数学Ｂ」「新課程　数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	問題集「改訂版　メジアン数学演習ⅠⅡＡＢＣ受験編」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「数学ⅠⅡＡＢＣ」の入試問題集を取扱います。すでにいくつかの単元に取り組んできました。改めて振り返ると，入試問題ばかりですので難度が高いと感じたことでしょう。ただ大事にしてほしいことは，それまでやってきた基礎部分（公式や計算手順などを指します。）を決して疎かにしないことです。問題ごとに，「どのような基礎事項を理解し，使えるようにすべきか」を意識して取り組んでください。
さらに，「よく使う事項」「あまり使わない事項」というふうに皆さんの中で分類していってください。数学は経験に裏打ちされた見方・考え方がものを言います。皆さんの中で見方・考え方を確立していってもらうと，それがそのまま入試へと繋がります。この授業を通じ，数学の奥深さを楽しんでもらえることを期待しています。

2　学習の到達目標

数学ⅠⅡＡＢＣ分野の既習事項の学習および、分野を横断した種々の入試問題演習を通して以下の資質・能力を身につける。
【知識及び技能】
a:基礎的な知識の確固たる定着と，知識を発展的内容につなげる技能の習熟。
【思考力、判断力、表現力等】
b:数学的に抽象化された事象を考察し，自在に表現する能力。
【学びに向かう力、人間性等】
c:数学的対象に興味関心をもち、自らの力によって積極的に活用する態度。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢＣの既習事項において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢＣの既習事項における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して，数学ⅠⅡＡＢＣの既習事項に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	演習形式	既習範囲（数学ⅠⅡＡＢＣ）から横断的に演習する。 具体的には以下の分野を総合して学習する。（数と式，集合と命題，２次関数，図形と計量，データの分析，場合の数と確率，図形の性質，数学と人間の活動，方程式・式と証明，複素数と方程式，図形と方程式，三角関数，指数関数と対数関数，微分法と積分法，数列，統計的な推測，ベクトル）	a:既習事項に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。 b:既習事項を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:既習事項に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。	定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
後期						

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度